



# ほんじつ ～本日のおすすめの本③②～

## 『モグラのもんだい モグラのもんく』

\*SDGs めいじんにんてい 名人認定ビンゴカードにもものっている ほん 本です。

かこさとし きく 作 小峰書店(2001 ねんしよほん 年初版)

\*この本は4番の書棚にあります。(貸出可能)

かこさとしさんが か 書いた かがくえほん 科学絵本のひとつで、とても ゆうめい 有名な本です。

モグラというと、つち 土の中に住んでいて、め めったにお目にかかることはできません。それに、はなし お話  
の なか 中ででてくるモグラは、め だいたい わる 目が悪くてサングラスをかけていたり、およ 泳ぎが苦手だったりし  
ますが・・・じっさい さてさて、じっさい 実際にはどうなのでしょう？

むかし 昔は、モグラは た 田んぼの「あぜ あぜ」に あな 穴をあけるので、た 田んぼの みず 水が減り、いね 稲が そだ 育たなくなるので、  
モグラを たいじ 退治したり お 追い出したりする ぎやうじ 行事もたくさんあったそうです。

100年ほどまえには、ねん ついにモグラも、むし ミミズも虫もいなくなり、もんだい モグラ問題は かいけつ 解決したように  
た みました。田んぼに いね 稲が みの 実らないのはモグラの せいだ せいだと き 決めつけているのは、にんげん どうやら人間だっ  
た たようで、モグラは むかしばなし すっかり いちいん 昔話の一員にされてしまったようです。

でもよく かんが 考えてください。今の いま 自然界でおきていることは、モグラが のうそん 農村から へ 減り、とも 共に い 生きて  
せいぶつ きた生物も へ 減りつつあります。

かこさとしさんは、モグラの げんじょう 減少を「にんげん 人間も じぶん 自分のもんだいとして かんが 考え、かいけつ 解決して ゆかねばなる ゆかねばなる  
まい まい」といっています。みなさんは、おも どう思いますか？

じぶん 自分で読むなら ねんせい 3・4年生から。

よ 読んでもらうなら ねんせい 1年生から。

